

創刊にあたって



取締役社長

山本 茂生

Shigeo Yamamoto

数年前のバブル経済崩壊の後、わが国はかつてないほどの不況を味わいました。業界によりましては、現在もなお、その後遺症に苦しんでいる方々もおられます。しかし、この不況を契機といたしまして、世の中のいろいろなしくみや常識が変化いたしました。ひとことで申しますと、今まで閉ざされていたもの、隠されていたもの、専用であったものなどが、開かれて、広く示され、共有となることがあたりまえになってきたことです。貿易における市場の開放化も、コンピュータシステムのオープン化も、企業の調達姿勢の変化も、役所や企業の情報開示の波も、ネットワークによる情報の共有化も、みな同じ流れです。ビジネスの世界で言い換えれば、あらゆる市場が広くなり、また、今までなかったような市場も新たにでき、大きな競争の中でアイデアや努力によってビジネスチャンスが広がってきたと言えるのではないのでしょうか。本当に面白い時代になってきたと思います。

さて当社は、昭和2年の創業以来、いつもお客さまと一緒に、世の中になかった新しい技術の開発を行ってまいりました。ただ新しい製品を作って販売するだけという姿勢ではなく、使用される条件や環境をお客さまとともに十分検討した製品づくりのために、技術力を投入してまいりました。そして最近はこれに加え、市場のニーズがある前に、潜在的なニーズを喚起するような技術の開発にも、当社は大きな努力を注いでおります。これは、冒頭に申しました世の中の現在の流れの中で、ぜひとも必要な姿勢であろうと考えております。自分で自分のまわりを枠で囲い、この中に入ってきたニーズに応じていくというのではなく、自らの手で枠を取り払い、あらゆる可能性を信じて、自らの意志で新たな技術に挑戦する姿勢です。

今日、わたし達人類が果たすべき、「地球環境の保全と産業発展との両立」、また「人の安全と健康の維持」、さらに「省エネルギーと新たなエネルギーの活用」といった、いくつかの大きな使命に対して、当社が些かでも貢献できる企業でありたいと、私は心から念願しております。

このたび、「Technical Report」を創刊いたしました。ご高覧たまわり、何かのお役に立つことができれば、幸甚に存じます。

1996年5月

SANYO DENKI Technical Report
No.1 May - 1996